

皇位継承儀式的流れと意義／Meaning of Imperial Succession Ceremonies

朝日新聞社編集委員・宮代栄一

The Asahi Shimbun Newspaper Senior Staff writer

PhD. Eiichi MIYASHIRO

1. 皇位継承儀式とは何か

- ・天皇の位を皇太子もしくは皇位継承者に譲る一連の儀式のこと
- ・法律上の規定はない
- ・もともとは1909年施行の登極令という法律で定められていたが、廃止された。現在の皇室典範にはその規定がない
- ・現在の天皇の即位時には、旧登極令などにに基づき施行

2. 儀式の流れ

- ・皇位の継承には3つのステージがある
- ・すなわち、皇位の証である三種の神器を受け継ぐ踐祚式
- ・即位したことを内外に示す即位式
- ・天皇が五穀豊穰を神に感謝する大嘗祭
- ・このうち、現在では踐祚式を「皇位継承儀式」といつている。

※即位式は即位を知らしめる儀式であって、皇位に就くための儀式ではない

- ・皇位継承の前段階として、今回は「退位礼正殿の儀」が初めて行われる

※これまでは逝去後の継承が基本。日本では近代以降、初めての生前退位

3. どのような儀式があるのか

- ・皇位継承に際して、すぐに行われる儀式は4つ
- ・剣璽等承継の儀、皇霊殿神殿に奉告の儀、賢所の儀、即位後朝見の儀
- ・剣璽等承継の儀（けんじとうしょうけいのぎ）では、皇位の証として皇室に伝わる三種の神器のうち、天叢雲剣（あめのむらくものつるぎ）と八咫瓊勾玉（やさかにのまがたま）を前の天皇から受け継ぐ。国事行為の決済に使われる天皇御璽なども受け渡される
- ・皇霊殿神殿に奉告の儀（こうれいでんしんでんにほうこくのぎ）では、代々の天皇の霊を奉る皇霊殿と天神地祇を奉る神殿で、新天皇の即位が報告される
- ・賢所の儀（かしこどころのぎ）では、天皇家の祖先神である天照大神を祭る賢所に収められた神器、八咫鏡（やたのかがみ）を受けつぐ。この儀式によって、三種の神器を継承した天皇は正統な皇位継承者となる
- ・即位後朝見の儀（そくいごちょうけんのぎ）では、新天皇が初めて首相や国民の代表らに言葉を述べる

4. 皇位継承後に行われる他の儀式

- ・ 皇位継承儀式後に行われる他の主な儀式には以下のようなものがある
- ・ 期日報告の儀、勅使発遣の儀、即位礼当日賢所大前の儀、皇霊殿神殿に報告の儀
- ・ 即位礼正殿の儀、祝賀御列の儀（パレード）、饗宴の儀（晩餐会）、大嘗祭、神武天皇陵などへの参拝
- ・ まとめると、退位・皇位関連で国事行為として行われる儀式は、以下の9つ
- ・ 退位礼正殿の儀（退位関連）
- ・ 剣璽等承継の儀・即位後朝見の儀、即位礼正殿の儀、祝賀御列の儀、饗宴の儀（即位関連）
- ・ 立皇嗣宣明の儀、同饗宴の儀、同宮中饗宴の儀（立皇嗣関連）

5. 何が問題なのか

- ・ 新しい時代の皇室像を模索。その結果、すべて先例を踏襲するのはふさわしくないとの議論が。様々な方針がまだ決まっていない

〈儀式に関する問題〉

- ・ 天皇陛下の退位の礼の形はどうあるべきか
- ・ 天皇陛下の退位と皇太子殿下の即位の日程はどうすればいいのか
- ・ 剣璽等承継の儀に女性皇族は参列できないのか
- ・ 万歳三唱を含め、即位礼正殿の儀の現在の形は民主国家にふさわしいのか
- ・ 饗宴の儀の規模は適正なのか（平成の時は3日間続いた）
- ・ 神道の儀礼である大嘗祭に国費が支出されるのは、政教分離の観点から問題ではないか

〈皇嗣に関する問題〉

- ・ 皇太子の弟である秋篠宮が初めて皇嗣（皇太子ではない）になる。位置づけはどうすべきか

6. 何をどう、報じるべきか

- ・ 儀式の意味がわかりにくい→大半の日本国民も知らない
- ・ 儀式によっては公開されない
- ・ 国事行為と皇室行事の棲み分けがわかりにくい
- ・ 天皇はどういう存在であるべきか、国民の間で議論が起きている
- ・ 歴史的には「民の平安と五穀豊穡を祈る」のが役目
- ・ 女性天皇の問題も含め、これを機に、現代にふさわしい皇室像を再考すべき